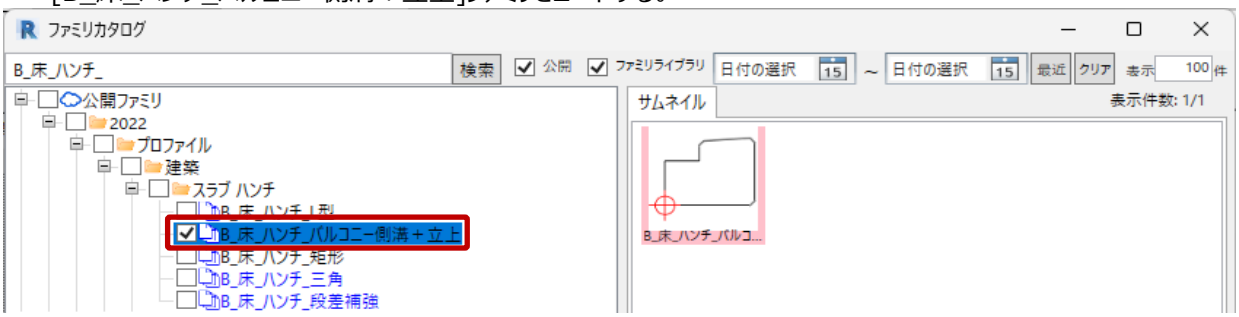
プロファイルを利用したスラブハンチの作り方

■概要

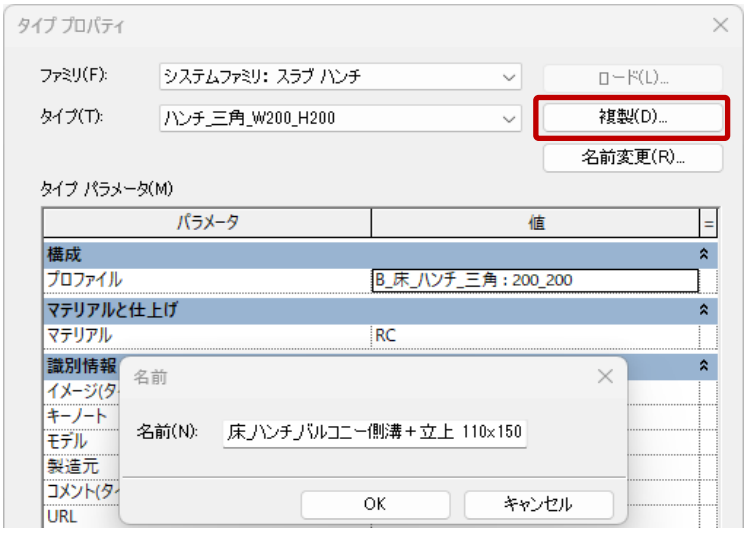
プロファイル[B_床_ハンチ_バルコニー側溝＋立上]ファミリは、「スラブ ハンチ」のプロファイルとして使用できます。
設計段階でのハンチとして簡易的に入力できるよう、プロファイルの用途として「スラブハンチ」として提供しております。
下記に操作手順を解説します。

■BooT.oneテンプレートを使ったプロジェクトでの使用手順

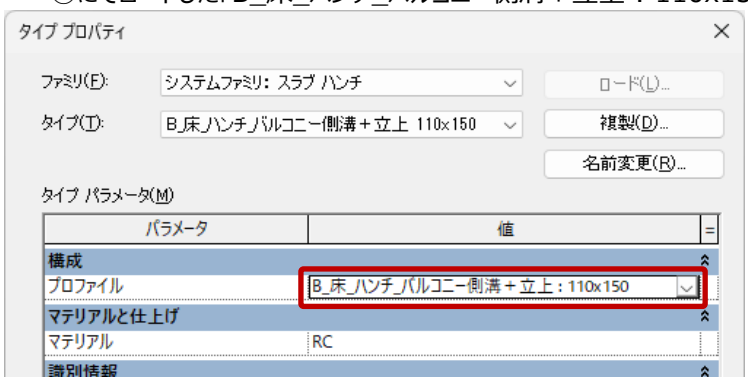
① [B.共通]タブ → [フォルダ]パネル → [ファミリ▼] → [ファミリカタログ]ツールを起動し、
[B_床_ハンチ_バルコニー側溝＋立上]ファミリをロードする。



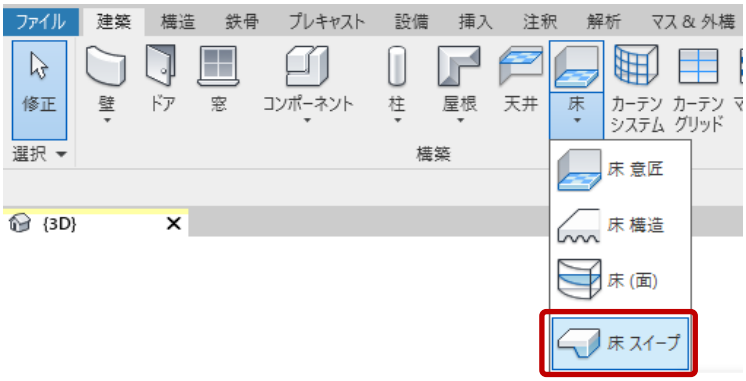
② スラブハンチのタイプを複製して専用のタイプを作成するため、
[プロジェクトブラウザ] → [ファミリ] → [床] → [スラブハンチ] → [ハンチ_三角_W200_H200]をダブルクリックする。
[複製]をクリックし、タイプ名を[B_床_ハンチ_バルコニー側溝＋立上 110x150]などに変更する。
※タイプ名はユーザー様で決定していただいて問題ございません



③ [タイププロパティ]ダイアログにて、[構成]パラメータグループ → パラメータ[プロファイル]をプルダウンし
①にてロードした「B_床_ハンチ_バルコニー側溝＋立上 : 110x150」を選択し、[OK]で閉じる。

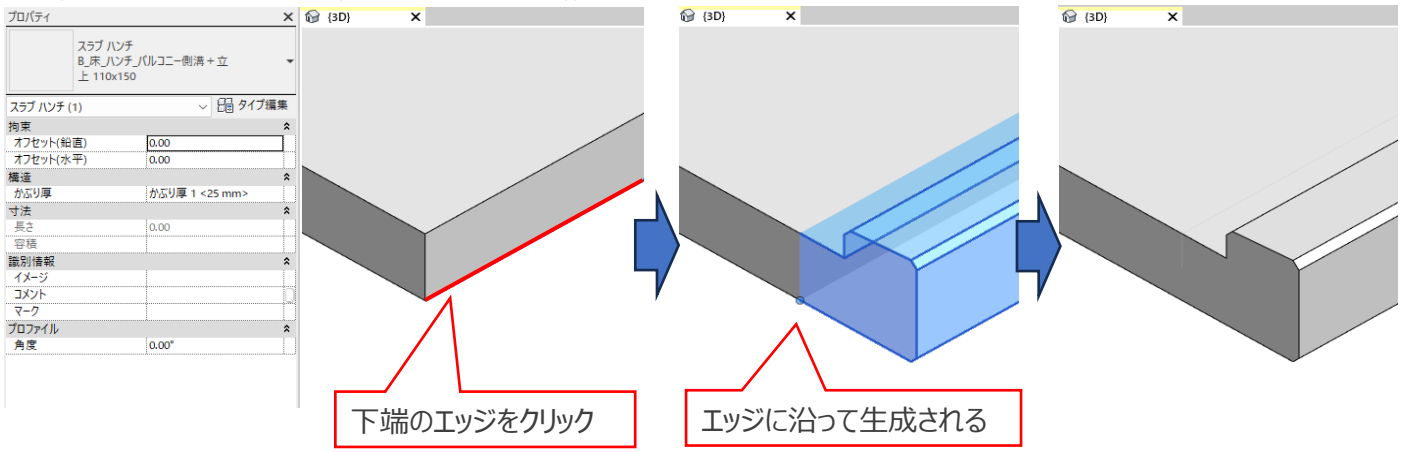


④ [建築]タブ → [構築]パネル → [床▼] → [床 スイープ]ツールを起動する。



⑤ [タイプセレクタ]からスラブハンチファミリの[B_床_ハンチ_バルコニー側溝＋立上 110x150]タイプを選択

⑥ 3Dビューにて、スラブ下端のエッジをクリックして配置

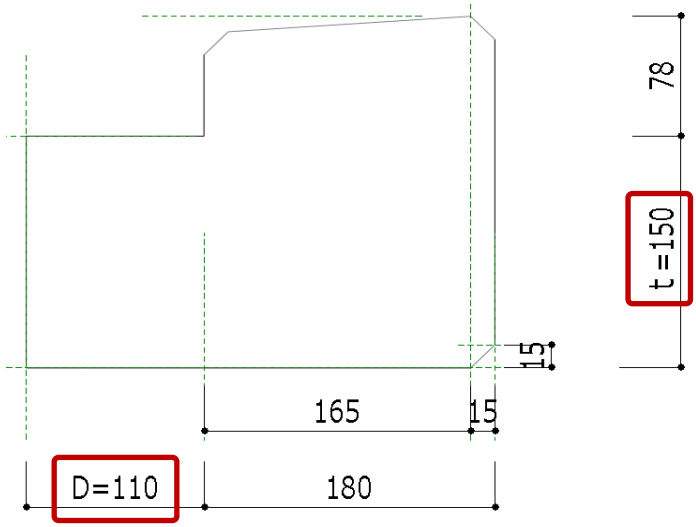


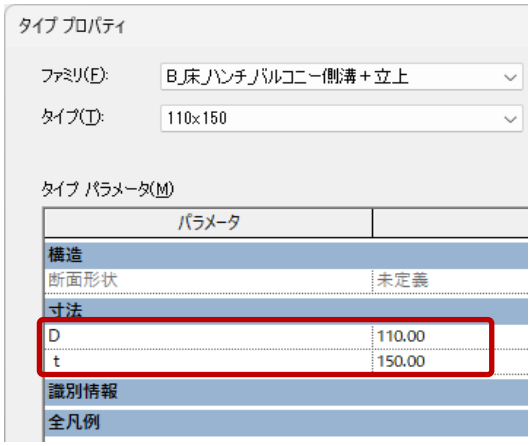
■ファミリタイプの編集

タイプ名に使用しております「110x150」は、それぞれ下図の箇所に該当しております。

[プロジェクトブラウザ] → [ファミリ] → [プロファイル] → [B_床_ハンチ_バルコニー側溝＋立上] → [110x150]

それぞれ対応する箇所に関しましては編集可能ですので、プロジェクトに合わせてご対応ください。





プロファイルを利用したスラブハンチの作り方

■コーナー部分が側溝がない場合のスラブハンチの作り方

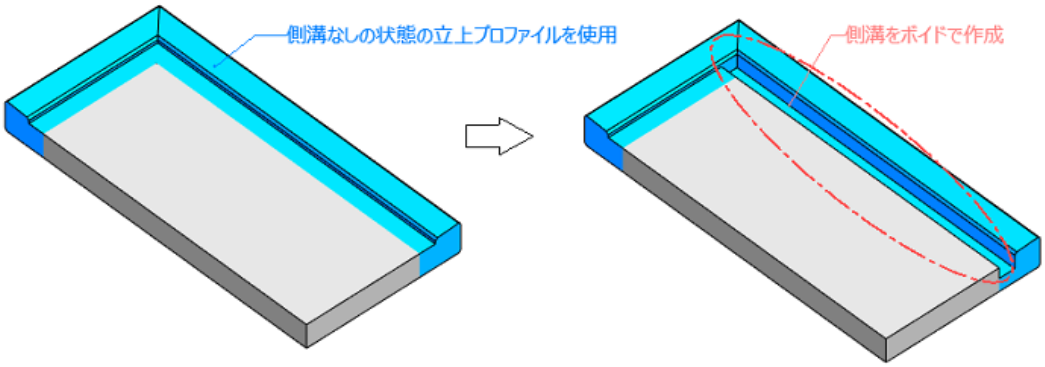
1.)プロファイルにて側溝を表現するのではなく、[ボイド]機能にて床に穴をあける方法

・「側溝なし」の形状になる、「立上り部分のみ」のプロファイルを作成していただく必要がございます。

・また、ボイドで作成する側溝のプロファイルに関しましても、「側溝のみ」の形状になるプロファイルはご用意がございませんので、ユーザー様にてご用意していただく必要がございます。

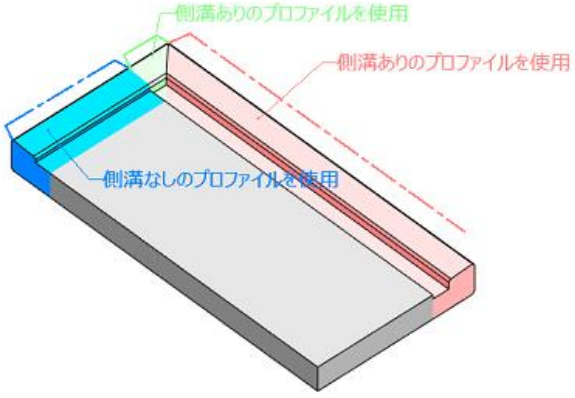
・なお、ボイドをファミリにて配置するか、インプレイスにて作成するかはユーザー様にてご選択いただくことになりますので、編集のしやすい方をご選択ください。

ボイドを使用して入力の場合



2.)スラブハンチにて側溝を表現する場合の作り方

・スラブハンチにて作成する場合は、プロファイル形状によっては理想的な接合処理が難しいため、少し変則的な入力手順をふむことになります。

・下図は、例としてコーナー部分に「側溝あり」のプロファイルを使用したハンチを追加作成し、「側溝なし」のプロファイルを使用したハンチを追加作成したものです。

ハンチスラブで入力の場合